

# 都道府県金融広報委員会 事務局員の活動紹介

## 年齢層に合せた活動を展開！

秋田県金融広報委員会  
湊 真子

秋田県の人口に占める65歳以上の比率は上昇を続け、このほど全国に先駆けて30%を上回りました。こうした中、秋田県金融広報委員会では、高齢者にターゲットを絞り、24年度にくらいしとお金の連続講座「60代からのライフプランを

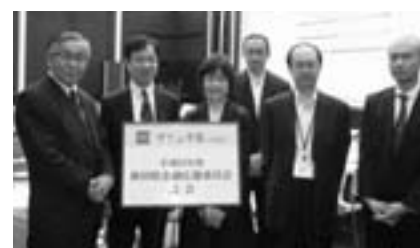
考えよう！」老後の生活のキーポイント」を開催しました。内容は、①60代からの生活設計、②財産管理と相続、③エンディングノートと遺言、の3つのテーマとしました。また、開催場所としては、秋田駅から徒歩数分、昨年7月にオープンしたばかりの「にぎわい交流館AU（あう）」という会場を選ぶことで、秋田市中心部の活性化に少しでも役立てるよう配慮しました。お陰さまで、当初予定していた定員を超える申込みをいただき、今

後こうした高齢者向けの講座は、より重要になるであろうと改めて実感しました。

また、当県では、就職・進学のために県外へ転出した人は転入した人の5倍に上るほど、若者の県外流出が顕著です。親元を離れて生活する可能性のある若い世代にも金融について学ぶ機会を提供したいと考え、高等学校向けの訪問授業を実施して好評を博しております。さらに25年度は、小中学校向けの訪問授業の拡大や金銭・金融教育

また、当県では、就職・進学のために県外へ転出した人は転入した人の5倍に上るほど、若者の県外流出が顕著です。親元を離れて生活する可能性のある若い世代にも金融について学ぶ機会を提供したいと考え、高等学校向けの訪問授業を実施して好評を博しております。さらに25年度は、小中学校向けの訪問授業の拡大や金銭・金融教育

研究校の委嘱に向け、事務局一丸となって努力しているところです。当県の人口の特徴に応じて、若者から高齢者まで幅広い年齢層において金融知識の向上を図れるよう、今後とも取り組んでいきたいと思います。



左から当委員会の羽田事務局長、小田会長、湊さん

## 腹話術で金銭教育を！

大分県金融広報委員会  
松木 富代子

大分県金融広報委員会では、夏休みに小学生とその保護者を対象に、いろいろな場所で金銭教育イベントを実施しています。

主なものは、当委員会のメンバーである金融機関との共催により行っている「夏休み親子スクール」と、

日本銀行大分支店と二緒に開催している「夏休みにちぎん大分見学会」です。

こうしたイベントのたびに、「何とかして子どもたちの注目を集めることができないだろうか」と考えていました。そんなとき、当委員会が出展した「生涯学習イベント」で、偶然にも隣の部屋で出展していた腹話術に出会いました。

人形と分かっているにしても、あたかも命が吹き込まれたようリアルなしぐさ、遣い手（術者）との絶妙な

セリフの掛けあい……、私はすっかり腹話術に引き込まれ、これを金銭教育に取り入れれば、よりストリートに子どもたちの心を掴むことができるのではないかと思います。

「普通のおばさんである私が「おこづかいは大切に使いましょ」と言っても子どもたちは聞き流します。が、人形の口を借りて「よい子のみんなもおこづかいは大切に使おうね！」と言えば、子どもたちの心に永く残ることでしょう。

そんな挑戦は始めたばかりで、時

には私が喋っているのに人形の口を動かしてみたり、セリフを忘れたり、まだまだ失敗もありますが、子どもたちが楽しかった夏休みの一日を振り返るとき、この人形とともに、お金の大切さや両親への感謝の気持ちなどを思い出してくれたら幸せです。



事務局員の松木さんと人形のゆうたろうくん